

第1回宇和島市復興計画策定委員会 議事録

日 時：平成30年10月25日（木）午後2時58分～午後3時50分

場 所：宇和島市役所6階 602会議室

出席者：（委員）えひめ南農業協同組合 吉見部長、漁業協同組合協議会 松下役員、
宇和島商工会議所 有間副会頭、吉田三間商工会 水谷会長、
津島町商工会 西崎会長、市社会福祉協議会 山本課長、
市連合自治会 日前会長、市女性団体連絡協議会 岩村会長、
市PTA連合会 松島顧問、宇和島青年会議所 藤堂専務理事
（アドバイザー）国交省四国地域整備局 三宅環境調整官、県南予地方局 片岡部長
（担当）危機管理課 山下課長、市長公室 梶原班長、
（事務局）企画情報課 中川課長、今西課長補佐、渡邊企画係長、松勢主事
欠席者：（委員）愛媛大学 小林副研究科長、（アドバイザー）（一社）RCF 藤沢代表理事

1 開会 （午後2時58分）

2 市長挨拶

3-1 委嘱状贈呈

市長より、えひめ南農業協同組合 吉見委員に代表受領いただく。
（市長、他の公務につき退席）

3-2 委員紹介

出席の委員及びアドバイザーに自己紹介をいただく。

3-3 委員長・副委員長の指名

委員会設置要綱第5条第2項の規定に基づき、委員長に愛媛大学 小林委員、副委員長に連合自治会長 日前委員が指名された。

4 報告

今回は、初回となることから、まずは報告という形で下記の4項目について、それぞれ担当より説明を行った。

（1）7月豪雨の概要及び被害の状況について

（策定委員会事務局より資料のとおり説明。） ⇒ 質疑なし。

（2）市の復旧・復興体勢について

（復興本部事務局より資料のとおり説明。） ⇒ 質疑なし。

（3）復興計画の概要について

（4）復興計画策定委員会の進め方について

（策定委員会事務局より資料のとおり説明。）

(質疑)

山本委員 : 今後、住民の関心を維持し、防災意識の啓発をするためには、より多くの方に自分の声が反映されているという実感してもらうことが大事と考えるが、アンケートはどんな規模で実施するのか。また、事業者も分野ごとでいろんな思いがあると思うが、ヒアリングはどのような形で実施していくのか。

事務局 : アンケートは、被災した全世帯 約 1,700 組、防災関係組織(自治会又は自主防災組織)の代表者 500 組、旧 1 市 3 町から無作為抽出した方々 1,800 組、合計約 4,000 組を対象に、幅広い意見を聞かせていただきたいと考えている。

事務局 : 事業者ヒアリングは、たとえば社協さんであれば福祉課・高齢者福祉課など、事業者のジャンルに最も近い部署からお聞きして政策展開していくのが良いと考え、その意見を委員会の中にできるだけフィードバックできる仕組み作りを事務局の方でしていきたいと考えている。会期が短い中でも情報は提供させていただくので、資料が届いたらできるだけご確認いただければと思う。

事務局 : 本日欠席の小林先生からお預かりした質問をご紹介します。『本委員会の役割は、「作成された復興計画素案に対する審議」ということか。』

→ この委員会は、委員の皆様とともに計画を策定いただくと考えている。ただし、一から作成するのではなく、事務局より計画の素案を提示して、それに対して皆様からお考えをいただくという流れで、審議会ではなく、皆様と一緒に策定をしていきたいと考えている。

5 その他

事務局 : 本日欠席の(一社)RCFの藤沢氏のご紹介させていただきたい。過去に復興庁に在籍され、東北の震災支援に尽力された方で、先般、市の復興アドバイザーとして委嘱させていただいた。今回の発災当初にも、クラウドファンディングを活用した支援に協力をいただいた方である。

6 閉会 (午後 3 時 50 分)

次回は平成 31 年 1 月開催を予定。